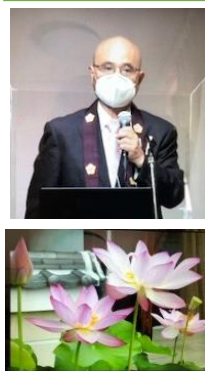




日時 2022年7月10日 (日)
9:30～15:30 (受付9:00～)
ハイブリッド開催
会場 栃木県総合文化センター サブホール
〒320-8530 宇都宮市本町1-8 028-643-1000

【参加費】
会員2000円 / 非会員3000円
【定員】 250名
【申し込み方法】
裏面の申込書にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。
学会ホームページ <http://shimingakkaui.org/> からの申し込みも可能です。

「今を生きる～いのちの終わりとは～」
鹿沼市薬王寺住職 倉松 俊弘



- ・因縁生起
- ・いのちとは自分だけに与えられた時間
- ・大切な**自分の時間**を少しでも他人に使うこと
- ・感謝のキャッチボールをする
- ・心の中にある仏心に気付く
- ・今を**生きる**ことが**ほかのいのち**を生かすこと

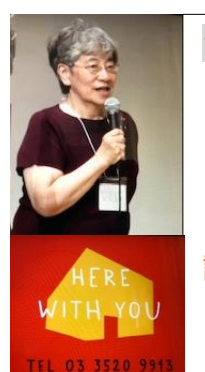
「少しだけ先をみて生きる」
岩手医大客員教授 高橋 都



Life does not end when cancer begins.
がんが始まって人生は終わらない
CancerCare Inc.
1944設立 NYに本部を持つ非営利専門家団体

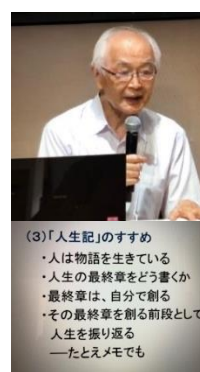
医師の妻が夫のがんから学んだこと
・喪失は誰にでも例外なくやってくる。喪失が表立って語られることはない。誰しもそれを受け止めて暮らしている。

「人の心への贈り物」
マギーズ東京センター長 秋山 正子



マギーズセンターのはじまり
～1996年スコットランドからがん患者マギーさんの願い～
・「病気であっても、患者ではなくひとりの人間に戻れるこじんまりした家庭的な居場所を」
認定 NPO 法人マギーズ東京
・住 所：江東区豊洲6丁目4-18
・連絡先：03-3520-9913

贈り物としての「死後生」
ノンフィクション作家 柳田 邦男



「死後生」への私の気づき
・次男 洋二郎の死
・11日間、大学病院ICU
・限りなき沈黙の会話
・25年の人生の凝縮された回想
・父も母も洋二郎も「現世に生きる者の目には見えない純化された精神的な存在(魂)となって自分の中に溶け込んできた」。

・その名司会ぶりに樋野先生も、「総合司会の嶋田弥生様のパワーには圧倒されました」と。

・いつもながらの総評をお聞きしてがん哲学外来市民学会は「永遠に不滅」と思いました。

・第3回福井大会を主催して下さい、今回はパネルディスカッションの司会で栃木大会を成功裏に導いて下さいました。

平林かおる先生
・「栃木大会」を待ち兼ねて編集子はパソコンの前で正座していました。

・第5回市民学会を成功させて下さった鈴木聡先生。昨日のことで覚えています。

・柳田邦男先生の座長としてご活躍されました。
・安藤潔先生が話されるその内容に編集子は大いに感銘を受けました。